

一、日ソ衝突により支那の共産軍の活動は活潑な活動を遂げ、
二、日軍がシベリアを攻撃すれば支那軍は反攻を開始するがこの間に重慶スポーツマンは次
の如く答へた、「もし聯合軍が支那に攻撃開始の役割を担へ軍需資材を供給するなら
ば支那はその役割を果すであらう、しかし支那軍の攻勢は外部からの軍需品供給如何に
かかつてあるがその外部の輸送状態は非常に困難となつてゐる」
又濠洲ビルマ、印度に關し次の如く語つた。「聯合國は今や最も暗黒たる時期に遭遇し
てゐる濠洲ビルマ、印度の攻防戦は進つてゐる、しかし日本は濠洲を征服することは出来
ぬ、濠洲國民は鐵の如き意表を有し一攻團結して國土を守つて居り濠洲の廣大なる原野は
糧食が未だ征服することのできぬ、ソ聯のそれと同様である。濠洲は米國の援助が本
格化するまで持ちこたへるのに最善である、ビルマ攻防戦は今や本格的となり始めた、し
かしその勝敗については聯合國に確算あり、聯合國側は始めて空軍優勢を得てゐるクリッ
プスは印度でその使命を果すのに成功するであらうと云ふのは印度人と英人は恐らく彼等
は共同の精神を有し相携へて打ち破り、より良き世界を實現するために戦はねばならぬこ
とを自覺するであらうから、かくて印度國境の境は固く守るべきである」

◎米の國防生産率増大

△ワシントン電 三月十八日

ネルソン米戦時生産局長官は米國の飛行機生産高は一ヶ月三千機の目標に近づきつつある
飛行機生産は戰時日に比し五〇%増加、しかし乍ら今日我が國における非常に危大なる
國防生産率の向上と生産速度の改善は緊急必要な大問題である、米國製武器は世界に冠絶
するものであり、我々はどしどしこれを生産してゐるが更に多量の武器がしかも今
日必要なのである、ドイツ人は米國の生産促進を極度に恐れ、そして敵は今後凡ゆる
可能な手段で米國內に罷業、混亂、不協及び不信を播大する筈である、又ヘ
ンダーソン米物價統制局長官は米國內の戦時生産は米國史上最も生産の昂揚した時よりも
更に六十%以上も増加して居る。
△ワシントン電 三月十七日
ル大統領は十七日新聞會見で飛行機建設のため百七十五億七千九百三十一萬二百五十三弗の
陸軍省追加費を十八日議會と合して二年間に十四億八千萬の飛行機を供給せんとするも
ので尙二億三千五百五十萬の飛行機製作の経費は未支出となるこの殘餘飛行機の経費支出
案も近く議會に提出される。

◎日、對ソ感刺戟に道義論争

△重慶電 三月十九日

大公報は獨逸の對ソ態度を...

海に於ける日本の漁業権は一九〇五年のポーツマス條約に基くものなるにも拘らず毎年毎年漁業問題で悶着を起して居るのはソ聯に對し國家的不名誉であるから對ソ感刺戟に日本は此の漁業論争を利用するであらうと信じてゐる。

◎米國議員婦人徵用法案を提起

△ワシントン電臺 三月十八日

下院陸軍委員會に對し婦人徵用法案を提起した、本案は十八歳から六十五歳迄の婦女子をすべて登録しその中より適當に選抜して陸海軍の非戦闘部署乃至は國防工業に徵用せんとするものである、尙この全部面的婦人徵用法案に先立ち女子海軍補助部隊編成案又陸軍女子部隊編成案も既に下院を通過上院に廻附されてゐる。

◎日本在米第五部隊の本部は

△サンフランシスコ電臺 三月十七日

合衆國聯邦調査局はマドリツの日本大使館が米國にある、日本の第五部隊の本部である證據を握つてゐると

◎華府官邊濠洲防衛に關し聲明

△ワシントン電臺 三月十七日

マッカーサー將軍は米國増援部隊の到着があれば敵に對する限り日本軍と對等の戦鬪をなすことが出来る兵員を擁してゐるもつともマッカーサー麾下の空軍部隊はかなりあるが日本空軍は敵に於て些かまさつてゐる、しかしこれも米國の増援部隊の到着とともにその不足は補はれるであらう。